

令和2年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	9. 教育費	大事業	4. 美術館教育普及事業
項	5. 社会教育費	中事業	
目	6. 美術館費	担当所属	美術館

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額			5年間計画額	
経常	単独	計画	0	0	2,173	実施計画	第4章	明日へつながるまちづくり	-
							基本施策6	芸術・文化の振興	-
									-
							施策2	市民による芸術・文化活動を支援します	-
								平成28年度	-
								平成29年度	-
								平成30年度	-
								平成31年度	-
								令和2年度	-

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額	156	
本年度当初査定額	156	2,396

財源内訳	諸収入					その他	一般財源
本年度当初要求額	0					156	△156
本年度当初査定額	156					0	2,240

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) ・広く美術の振興をはかるため、市民参加型の展示、ワークショップ、イベント等を行います。</p> <p>・ホームページや印刷物、各種メディアを通じて美術館の活動や芸術文化の情報を発信します。</p>	<p>(事業の目的) ・地元団体との共催展覧会や、美術館での市民ボランティアなど、一歩踏み込んだ美術館での活動を通し、公立美術館が市民とともにできることは何かを探っていきます。</p> <p>・美術に興味のなかった人々を対象に事業を展開し、美術に関心を持つ層を広げていきます。</p> <p>・美術には興味がなくても、とにかく足を運んでもらい、美術館に親しみを持ってもらうところから、利用者層の拡大を図ります。</p>	<p>(事業の効果) 芸術、文化や美術館を身近に感じられるようになったり、新たな視点を持って、地域や日常を見つめ直すことにより、より豊かな市民生活をおくることに寄与します。</p>
<p>(事業実施上の問題点) ・美術に関心のない方々が美術館に来た後、展示室を見たり、リピーターになったりということにつなげていけるかどうか課題です。</p> <p>・地元団体や市民ボランティアの高齢化や質の変化にどう対応していくかが課題となっています。</p>	<p>(前年度からの見直し点) ・市民ボランティアの行なう対話型鑑賞への要望が増えているため、コンサート、ワークショップは絞り込んで、予算を集中させました</p>	<p>(見直しについての特記事項) ・市民生活を心豊かなものにするために、美術館はもっと身近な存在になる必要があります。美術の愛好家にはより深い体験を提供するとともに、普段美術に関心がない人にも美術館に足を運んでもらえるよう、普及事業を展開することが重要です。</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
07	75	130	△55
08	8	11	△3
10	328	395	△67
11	218	250	△32
12	1,767	1,685	82

	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
特定財源	21	05	04	01	50	12	県民芸術劇場地方公演共催負担金	156	156	156	0
	差引一般財源							△156	2,240	△156	2,396